

戸田康之さん『雨の外遊び』（10月4日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。

今日は、雨の時の外遊びについてお話ししたいと思います。

今、ろう学校の幼稚部で仕事をしています。私が担任をしているクラスは男の子が多く、みんなとてもわんぱくです。

6月7月は梅雨で雨続きですね。毎日毎日雨ばかり。そんな時、ふつうは学校で雨が降っているとすれば外遊びはできないから教室で遊ぼうと先生も言うと思いますが、うちのクラスの子どもたちはそんな言葉には見向きもしません。雨が降っているのも構わず外に出て走り回っています。他のクラスの子どもたちは雨の時には教室でままごとをしたり絵を描いたりしているのに、うちのクラスの子たちは、雨なんてへっちゃらとばかりに外に出ていきます。私もしょうがないので一緒に外に出てずぶ濡れになって一緒に遊びます。6月ですから、雨にあたっては寒くはありません。

雨の中の外遊びはおもしろいんです。それまでは雨の時に外で遊ぶなんてことはありませんでしたが、男の子たちばかりで雨の中での遊び方を色々工夫しているんです。

例えば、木の幹をゆすって葉っぱについた雨粒を振り落としたり、学校にある脚つきテントの屋根からしたたり落ちる雨を入れ物に溜めてみたり。さらには、学校にすべり台があって、雨だから当然濡れているのですが、服が濡れるのも構わず滑るんです。すごいスピードが出て、何度も何度も滑っています。あげくに雨くらいじゃ物足りないからとバケツで水を汲んできて、すべり台の上から水を流して子どもが水に乗って一緒に滑っているんです。ちょうどプールのウォータースライダーのような感じにしたいくて、他の友だちに水を流してもらうよう頼んで、水を流すタイミングで一緒にすべって楽しんでいます。

雨での外遊びのアイデアが子どもたちからどんどん出てきて、面白いです。